

協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祝日は
繰り下げ発行となります。



目次:

政府主催の『昭和100年 記念式典』が 盛大に開催されました	1 ・ 2
林政対策委員会において 「イラン情勢に関する関 係合同会議における 団体ヒアリングの状況に ついて(報告)」及び 「次期森林・林業基本計画 の本文案等について」 に関する審議が 行われました!!	3 ・ 4
国会・業界 行事日程(4月)	5 ・ 6

政府主催の『昭和100年記念式典』が 盛大に開催されました

令和8年4月29日(祝)の『昭和の日』の午後、日本武道館において『昭和100年記念式典』が天皇陛下・皇后陛下をはじめ、高市首相ら三権の長、閣僚、国会議員、在日外交団、各界代表ら約1万人が出席して盛大に開催されました。森林・林業界からは(一社)日本林業協会の島田泰助会長が出席しました。



式典の様子(高市首相の式辞) 出典:首相官邸HP

昭和100年記念式典の挙行について

〔令和7年11月28日〕
閣議決定

令和8年に昭和元年から起算して満100年を迎えることを記念し、激動と復興の昭和の時代を顧み、将来に思いを致す機会となるよう、下記により、昭和100年記念式典を挙行する。

記

1. 式典は、政府主催により、令和8年4月29日（水）、日本武道館において、各界代表等の参列を得て挙行する。
2. 式典の円滑な実施を図るため、式典委員長、式典副委員長、式典委員及び式典幹事を置く。
式典委員長は、内閣総理大臣とし、式典副委員長、式典委員及び式典幹事は、内閣総理大臣が委嘱する。

「昭和100年」とは

令和8年（2026年）に、昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎えます。
昭和の時代は、未曾有の激動と変革、苦難と復興の時代でした。
「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人の躍動に学び、昭和の記憶を共有することは、平成以降の生まれの世代にとっても新たな発見のきっかけとなり、幸せや生きがいを実感でき、希望あふれる未来を切り拓く機会、平和の誓いを継承し、将来にわたる国際社会の安定と繁栄への貢献につなげていく機会になります。
このような観点から、政府では、幅広い分野にわたり、「昭和100年」関連施策を推進します。

出典：『昭和100年ポータルサイト』

林政対策委員会において 「イラン情勢に関する関係合同会議における 団体ヒアリングの状況について（報告）」及び 「次期森林・林業基本計画の本文案等について」に 関する審議が行われました！！

令和8年4月17日（金）午前11時45分から、自民党本部において『林政対策委員会』が開催され、前日16日（木）に行われた『イラン情勢に関する関係合同会議における団体ヒアリングの状況について』の報告及びいよいよ大詰めになった『次期森林・林業基本計画の本文案等について』の審議が行われました。

冒頭、田野瀬太道・林政対策委員長、宮下一郎・総合農林政策調査会長、野中厚・農林部会長のご挨拶があった後、林野庁からの説明に続いて審議に入りました。



挨拶される田野瀬委員長



挨拶される宮下会長



挨拶される野中部会長

なお、『イラン情勢に関する関係合同会議における団体ヒアリングの状況について』の報告は、『森林と林業4月号』で既にご紹介していますので割愛します（ご入り用の方は事務局にご連絡願います）。

また、資料2-1の『森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～（案）』は56頁ありますので掲載は割愛します（ご入り用の方は事務局までご連絡ください）。

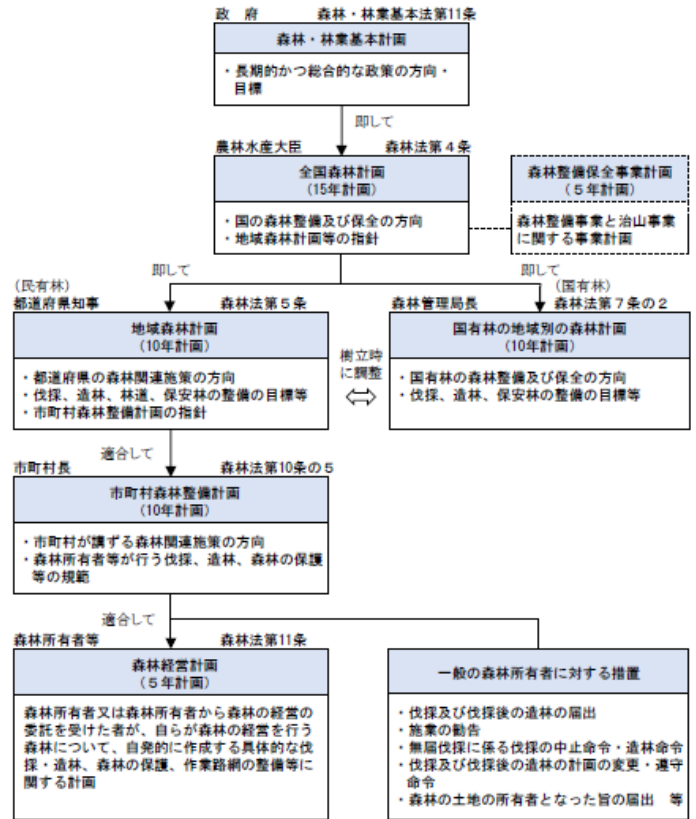
基本計画の見直しに合わせて『全国森林計画』も見直されされます。資料2-3も30頁ありますので掲載は割愛し、資料2-2の『全国森林計画の変更について』を下記に掲載します（資料2-3がご入り用の方は事務局までご連絡ください）。

「全国森林計画」について

■ 全国森林計画の概要について

- 全国森林計画は、農林水産大臣が森林法第4条の規定に基づき、森林・林業基本計画に即して、5年ごとに15年を1期としてたてるもの。
(※現行の計画期間：令和6年4月1日から令和21年3月31日)
- 森林の整備及び保全の目標、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等に関する事項を明らかにする。
- 広域的な流域(44流域)ごとに、伐採立木材積や造林面積等の計画量を示すことにより、都道府県知事がたてる地域森林計画等の指針となる。

(参考) 森林計画制度の体系



「全国森林計画」の変更について

■ 全国森林計画の変更内容

全国森林計画では、広域的な流域(44流域)ごとに、

① 森林の整備及び保全の目標

② 計画量(伐採立木材積、造林面積、林道開設量等)

を定めており、これらについて、新たな森林・林業基本計画の目標区分等に即して変更(本文 P. 7, 21, 22)。

また、新たな森林・林業基本計画を踏まえ、以下を追加。

- 林業適地での再造林の確保に向け、特に効率的な施業が可能な森林の区域の設定と森林経営計画の作成等の積極的な推進(本文 P. 2, 13)
- 生物多様性保全の一層の推進(本文 P. 8)
- 野生鳥獣対策や林野火災予防対策の推進(本文 P. 19)

等

※全国森林計画変更後、都道府県の地域森林計画等についても見直し。



人工林



利活用等により機能の維持増進を図る天然林



天然林

① 森林の整備及び保全の目標

(単位：千ha)

区分	現況 R4. 3. 31	計画期末 R21. 3. 31
人工林	10,216	9,921
天然林	14,809	15,103
うち、利活用等により機能の維持増進を図る天然林	1,116	1,729
計	25,025	25,025

注1：人工林には伐採跡地を、天然林には竹林及び未立木地を含む。
注2：四捨五入のため内訳と計とは一致しない場合がある。

② 計画量

(単位：万㎡、千ha、千km)

	区分	計画案
伐採立木材積	総数	85,194 (5,680)
	主伐	53,889 (3,593)
	間伐	31,305 (2,087)
造林面積	人工造林	1,123 (75)
	天然更新	790 (53)
林道開設量		9.7 (0.6)
(参考)森林施業面積		8,944 (596)

注1：「計画案」欄の採書きは計画期間(R6~R15)の15年間の総量、()内は年平均の数量。

注2：造林面積は区域面積。人工林皆伐後の更新は、全て人工造林によることを想定。天然更新は主に択伐後に実施することを想定。

注3：林道開設量は、効率的施業森林区域等における量。

注4：森林施業面積は、人工造林、下刈り、間伐等の各施業面積の合計。

令和 8年 4月 国会の動き

《国会関連》

- 2日(木) 衆・本会議
国家情報会議設置法案
- 2日(木) 参・農水委
令和8年度総予算 委嘱審査
- 3日(金) 参・予算委
令和8年度総予算 一般質疑
- 6日(月) 参・予算委
令和8年度総予算 集中審議
令和8年度総予算 一般質疑
- 7日(火) 参・予算委
令和8年度総予算 集中審議
令和8年度総予算修正案
令和8年度当初予算原案及び修正2案((立)(公)案及び(国)案)に対する締めくくり質疑
- 9日(木) 衆・本会議
健康保険法案 趣説・質疑
- 9日(木) 衆・農水委
一般質疑
- 10日(金) 衆・本会議
防災庁設置法案、防災庁整備法案
趣説・質疑
- 10日(金) 衆・農水委
農中法案、近代化資金法案 質疑
- 16日(木) 衆・本会議
防衛省設置法案 趣説・質疑
- 16日(木) 衆・農水委
一般質疑
- 21日(火) 参・農水委
一般質疑
- 22日(水) 衆・農水委
家伝法案 質疑、質疑終局
- 23日(木) 参・農水委
農中法案、近代化資金法案 質疑、
質疑終局
- 27日(月) 参・予算委
集中審議
- 28日(火) 衆・本会議
経済安保推進法案 趣説・質疑

令和 8年 4月 業界の動き

【3月】

- 6日(金) 国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会
三井住友信託銀行との間で「立木伐採後の再造林資金の管理に関する覚書」を締結。
- 17日(水) 静岡県
早世樹・テーダマツの利用可能性をテーマにした「次世代林業創出セミナー」を開催
- 18日(水) 型枠用合板のトレーサビリティ普及促進協議会
デベロッパー、型枠工務店、施工会社、商社など56者で構成する協議会の発足を公表
- 19日(木) 国土緑化推進機構
「令和7年度全日本学校関係緑化コンクール」の表彰校を決定・公表
- 24日(火) 大日本山林会
2025年度の林業経営「創意工夫」表彰行事の受賞者4件を選定・公表
- 27日(金) 木材利用推進本部
戸田建設(株)本社ビル「TODA BUILDING(内装材に国産のFSC認証材を使用し先駆的な建築物)」において第66会合を開催(民間施設では初めて)。併せて戸田建設と農林水産省による『2050年カーボンニュートラルの実現とサステナブルな社会の構築に向けた建築物木材利用促進協定』のお披露目
- 27日(金) 林野庁
「気候変動や社会情勢の変化を踏まえた今後の治山対策の在り方検討会」の成果をとりまとめ・公表
- 27日(金) 林地再生対策協議会(岩手県大船渡市)
昨年2月の大規模林野火災(被害総面積3,370ha)のうちの人工林(1,279ha)の再生計画を決定
- 27日(金) 第50回全国育樹祭秋田県実行委員会

令和 8年 4月 業界の動き

- 第2回総会を開催。大会テーマ「緑育てる小さな一歩 未来へつながる大きな希望」及びロゴマークを決定・公表
- 27日（金）秋田県
秋田県建築士事務所協会
秋田プライウッド(株)
「秋田県産材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結。3者が連携して建築物の木造・木質化を進め、脱炭素社会の実現などにつなげることで合意
- 27日（金）・31日（火）高知県
「環境不動産」制度による認定2件(第2号:「LIVOTRビル」(八潮商事(株)建設)、第3号:「高知東部森林組合事務所」)
- 31日（火）政府（関係省庁連絡会議）
CLT（直交集成板）の普及促進のための「第4次ロードマップ」を決定
- 31日（火）国土緑化推進機構
第35回目「みどりの文化賞」に宮大工棟梁の小川三夫氏を決定
- 【4月】
- 1日（水）自民党林政対策委員会
「木育」の推進策を新しい森林・林業基本計画に反映させることを確認
- 1日（水）国立研究開発法人森林研究・整備機構
新理事長に丹下健氏（東京大学名誉教授）が就任
- 1日（水）秋田県
「再造林の促進に関する条例」を施行（宮崎県に次いで2番目）
- 1日（水）日本住宅・木材技術センター
同センター認定の「中国製アンカーボルト」などを不適合品の疑いあると発表
- 3日（金）社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会（新宿区）
重度障がい者向けの木造3階建て施

令和 8年 4月 業界の動き

- 設「石神井いとなみの起点」の完成見学会を開催
- 6日（月）経済産業省
再エネ特措法（再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法）に基づく昨年度の処分実績を公表
- 7日（火）林野庁
「森業振興室」が本格的業務を開始
- 7日（火）愛媛県森林組合連合会
国内家具メーカーの「カリモク家具(株)（愛媛県東浦町）」と連携して県産クヌギ材だけを使った家具を開発
- 10日（金）政府
「令和8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の受賞者を決定・発表
- 10日（金）林野庁
第4回「サザエさん一家の“もりのわ”話」吹き出しコンテスト2026の募集開始
- 14日（火）関東森林管理局
磐城森林管理署に設置した「福島森林再生センター」の開所式を実施
- 17日（金）山口県
「林業即戦力短期育成塾」受講生（定員10名）の募集開始
- 25日（土）森林総合研究所
「春の一般公開2026」を開催